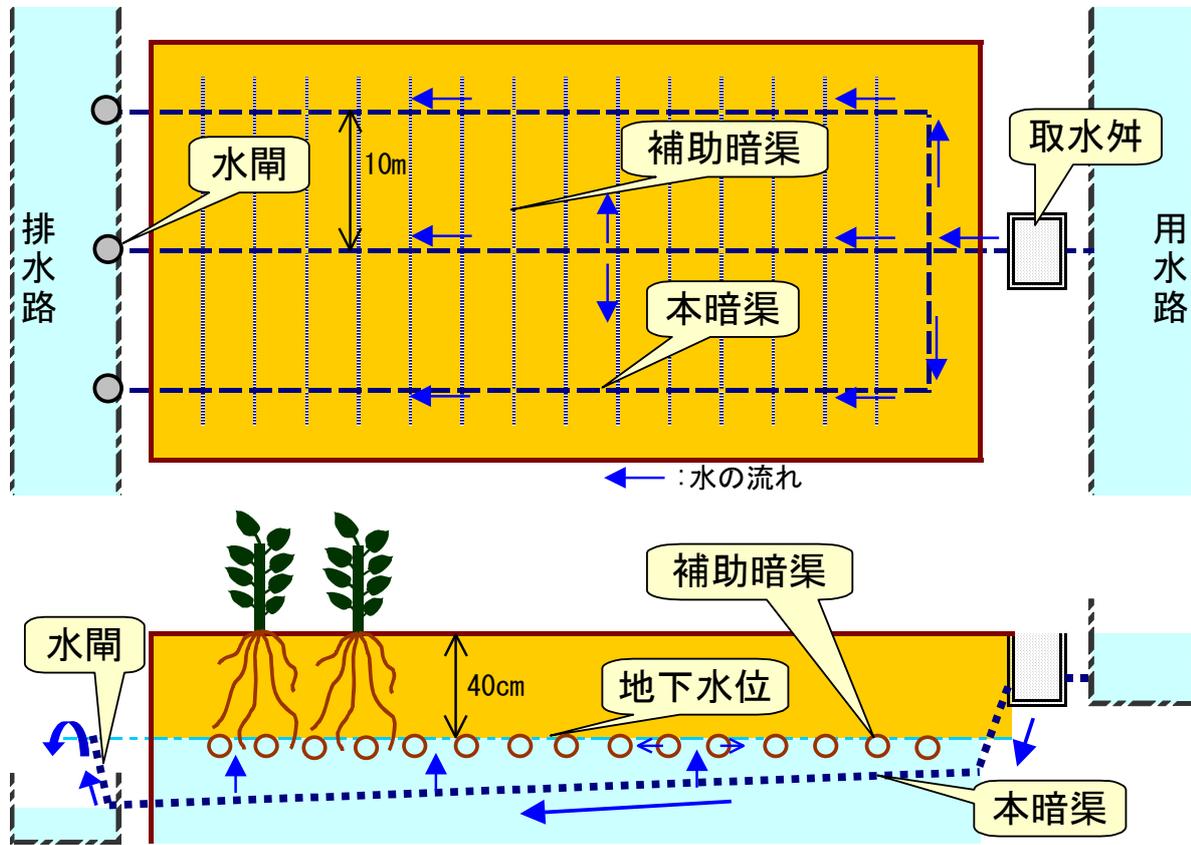


地下灌漑システムによる大豆の収量・品質向上

大豆作において地下灌漑を行い,夏季の干ばつ害を回避します

地下灌漑システムの概要（上：圃場平面図，下：圃場断面図）



- ①用水路から取水弁を通して，10m 間隔で施工された本暗渠に導水します。
- ②本暗渠の排水口に設置した水閘（立上げ）により，地下水位が上昇します。
（地下水位を田面下 40cm に保つように水閘を設定）
- ③上昇した地下水は，補助暗渠（弾丸暗渠）を伝わって拡散します。



<地下灌漑区（左）に対し，無灌漑区（右）は葉に元気がない>

開花期～子実肥大期の地下灌漑により，収量・品質は 270kg/10a・検査等級 1 等となり，無灌漑区の 220kg/10a・検査等級 2 等を上回りました。